

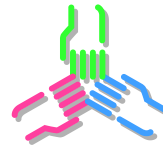
スヌーズレンをご存じですか

スヌーズレンは、オランダで1970年代に始められた障がいを持つ人との関わり(活動)の理念です。

障がいを持つ人とパートナーがともに楽しめるように、光、音、におい、振動、感触、動き・揺れなど、様々な感覚が体験できる環境の中で、活動的に探索したり、ゆったりとくつろいだりします。スヌーズレンという言葉は、この2つの意味を含んだオランダ語で、スニッフレン「クンクンとあたりを探索する」、ドゥースレン「ウトウトくつろぐ」を組み合わせた造語です。

スヌーズレンは、治療法でも、教育法でもありません。パートナーは、治療効果や発達支援を一方的に求めることはせず、障がいを持つ人の楽しみ方をありのままに受け入れ、一緒に楽しめます。それは、障がいを持つ人が、自分で選択し、自分のペースで楽しむための、人生の大切な時間なのです。そして共に過ごす人との相互作用により、孤独ではない社会的な存在としての時間なのです。

スヌーズレンを実践する上で、大切なことは、障がいを持つ人とパートナーが、同じ人間として同じ場で同じ感覚を経験し、互いの感じ方や喜びを共有すること、それを通して人と人との関係をより深めることです。



日本スヌーズレン協会 事務局

日本スヌーズレン協会



日本スヌーズレン協会の紹介

日本スヌーズレン協会は、全国の実践者・研究者が集まり、1999年に設立した団体です。日本で最初にスヌーズレン実践に取り組んだ島田療育センターを中心に全国で先駆的な取り組みを行っていた実践者の「スヌーズレンの理念を日本に浸透させたい」という思いから、設立当時より、スヌーズレンの創始者であるアド・フェルフル氏をはじめ、ヨーロッパにて第一線で活躍されている実践者をお招きしスヌーズレンセミナーを開催するなど、日本におけるスヌーズレンの啓発とその発展に寄与してきました。

近年では、日本で培われ蓄積されてきたスヌーズレン実践に関する情報交換、啓発のための入門講座、ニュースレター「スヌーズレンジャパン」の発行、施設団体に対する講師派遣、実習・見学施設の紹介などの活動を行っています。また実践者スキルアップのための実践パートナー養成講座などを開催しています。

これからも、日本スヌーズレン協会は、当協会顧問であるスヌーズレン創始者アド・フェルフル氏の考えるスヌーズレンを日本に伝えるとともに、各地の実践者と連携を大切に、日本で培われた実践をより深みのあるものにするために活動いたします。

スヌーズレンセミナー

スヌーズレンセミナーは、年2回、東日本及び西日本にて開催しています。内容は、入門者向けの講座や実践講座、各地の実践報告、パネルディスカッションなどで、スヌーズレンに初めて触れる絶好の機会です。

スヌーズレン実践パートナー養成講座

スヌーズレン実践パートナー養成制度とは、協会が提供するスヌーズレン実践者のための学習システムです。養成講座の受講や、地域での活動、セミナー発表などに応じて、「スヌーズレン実践パートナー」の修了証(初級・中級・上級)及び認定証を発行いたします。

初級コースでは、スヌーズレン実践にあたって必要な基本的な知識、技術、態度を修得するために全6講座からなる養成講座を開講しています。

地域の草の根ネットワーク

協会の地域コーディネーターは、各地域でスヌーズレンに取り組む実践者の交流やミニ勉強会の企画などのお世話役的存在です。今後、協会では多くの地域コーディネーターを養成し、身近なネットワークを構築していきます。

入門講座(出前講座)

スヌーズレンについてまず知りたい、そしてこれからスヌーズレンに取り組まれる施設や団体に講師を派遣し、スヌーズレンの入門講座を開催しています。

入会のご案内

日本スヌーズレン協会への入会を希望される方は、協会ホームページをご参照の上、入会手続きを行ってください。協会主催のセミナー会場でも入会の手続きをお受けしています。会員の種類は、個人会員、団体会員、賛助会員があります。会員になられた方には、養成講座への参加、スヌーズレンセミナー参加費の割引や、スヌーズレン最新情報などを掲載した機関誌「スヌーズレンジャパン」(年4回発行)をお送りさせていただきます。また団体会員の団体・施設には、研修のための講師を無償で派遣いたします。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。



スヌーズレン創始者 アド・フェルフル氏(日本スヌーズレン協会顧問)を囲んでの協会役員会

<http://snoezelen.jp/>

ご連絡・お問い合わせは

E-mail info@snoezelen.jp